

第 6 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 3 年 7 月 28 日 (水) 午後 3 時～午後 5 時 15 分
会 場	クロスパルにいがた 5 階 交流ホール 2
出席者	<p>【社会教育委員】 岡 昌子、小川 崇、角野 仁美、木村 いほ子、雲尾 周、笹川 博人、田中 一昭、田中 宏和、山田 久美子、渡邊 彩 計 10 名 *敬称略</p> <p>【事務局】 本間教育次長、教育総務課教育政策室長、地域教育推進課長、中央公民館長、中央図書館館長補佐、生涯学習センター所長、生涯学習センター所長補佐、生涯学習センター職員 2 名 計 9 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 教育次長あいさつ</p> <p>3 事例研究 (1) 阿賀野高校校内居場所カフェについて ○資料に基づき、阿賀野高校校内居場所カフェ A G N U 代表の本間由香里様より阿賀野高校校内居場所カフェについてご説明いただきました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェの運営メンバーはどのような方が何人くらいいるか、その方たちがシフトで運営しているのか教えてほしい。 →メンバー数は 14 名。PTA 会長、副会長や前 P T A 会長、企業、社会福祉協議会、小学校の放課後スクール職員、卒業生、子育て支援の活動者、地域おこし協力隊、小中学校の校長経験者など。メンバーで役割分担をして運営している。 ・新型コロナウイルス感染症がある状況で昨年 11 月にオープンして、盛況か。 →この日 1 回しかできていない。来てくれた生徒は 1 人で、様子見に女子が 3 人くらい来た。 →学校なので、半日やれるかという、授業の時間などの兼ね合いもありなかなか難しいと思う。開店時間は 1 時間と短い感じだが、高校でこういう居場所を作るということは、恐らくこういう子どもたちに来てほしいというターゲットを想定されていると思う。そういう子たちが来ているかどうかという意味で盛況かと聞いたが、残念だ。 ・ターゲットは誰を考えているか。 →誰でもいい。悩みがあって来る子もいると思うが、アルバイトまでの時間つぶしや、眠たいとか、電車時間まで少し時間があるから来たという子でも全然かまわず、おじちゃん、おばちゃんと話をしてくれたらという感じで受け入れる。 ・飲食などもあるか。その場合、料金はどのような体系になっているか。 →飲食もする予定だったが、コロナのためできず、自分が持ってくる飲み物、お弁当は OK としている。 いろいろな方から寄付があり、それをつないでいくことも予定していた。助成金も考えている。農家からもらうということも考えた。 →所属する会では、年に 2 回こども食堂をやっているが、寄付と会員が出し合い、また来てくれる子どもに 100 円ずつもらって、カレーライスとそのほかプラスを出すようにしている。

<p>内 容</p>	<p>→阿賀野市でもこども食堂は 2 軒あるが、1 軒はできていない。行っているこども食堂では、フードドライブから食品をもらったりしているようだ。</p> <p>(2) 万代高校 総合的な探求の時間について ○資料に基づき、地域教育推進課から万代高校の総合的な探求の時間について説明しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>(3) 日本文理高校の取り組みについて ○資料に基づき、角野委員が日本文理高校の取り組みについて説明しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 令和 3 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 第 1 回理事会（書面開催）報告 ○報告資料 1-1、1-2 に基づき、雲尾議長が書面開催された令和 3 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会について報告しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>(2) 令和 3 年度指定都市社会教育主管課長会議および社会教育委員連絡協議会（書面開催）報告 ○報告資料 2-1、2-2 に基づき、生涯学習センター所長が書面開催された令和 3 年度指定都市社会教育主管課長会議について報告しました。また、報告資料 2-3 に基づき、雲尾議長が書面開催された令和 3 年度社会教育委員連絡協議会について報告しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>(3) 令和 3 年度社会教育委員等研修会 参加報告 ○報告資料 3-1、3-2、3-3、3-4 に基づき、参加委員が報告を行いました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) ワークショップについて ○協議資料 1-1、1-2 に基づき、ワークショップの実施案について、生涯学習センター所長が説明を行いました。 【主な質問・意見等】 ・ワークで、1 番目のところに模造紙に貼ると書いてあるが、書くことを入れると 5 分では短すぎると思う。後半で貼ることに集中してほしいのであれば、事例研究の始めの説明で、「1 つの付箋に 1 つのことを書く」ということを伝えたとスムーズだと思う。 ・参加者が公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、社会福祉協議会、ユ-</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>スアアドバイザーといろいろな方であり、前提や流れが分からずに「付箋を書いて」と言われても困惑すると思う。例えば、今日のテーマはこういう趣旨で、これから事例研究を聞いてもらうが、この後にこういうことをしたいので、メモをしながら見る、聞く、あるいは質問してほしいという前提を、丁寧に説明した方がいいと考える。</p> <p>→事務局としては、事例研究・ワークショップの流れについての説明は、今のことも含めてご説明いただきたく、ワークショップに詳しい社会教育委員に担当していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例研究の事例について、これを基に意見を出してもらうということだと、具体的なディテールを含むものが議論になりやすいと思う。 ・新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合は、延期や中止もあり得るか。 <ul style="list-style-type: none"> →感染状況によっては延期や中止の検討も必要かと思うが、できる限り実施する方向でいる。 ・接触を避けるのであれば、ワークショップで会話や同じ物を使うことを避けるために、ギャラリーウォークという方法もある。 <p>○事例研究の小・中学生に関する事例は、視覚障がい者へのお礼状の音声訳支援とし、山田委員が担当することとしました。</p> <p>○事例研究の高校に関する事例は、南区コミュニティ・コーディネーター育成講座としろねこ共育イベントを統合し、白根地域の事例として、角野委員が担当することとしました。</p> <p>○役割分担について、以下のとおりとしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・オリエンテーション、まとめ：雲尾議長 ・建議概要説明：小川副議長 ・事例研究・ワークショップの流れの説明、発表の進行：渡邊委員 ・ファシリテーター：雲尾議長、小川副議長、渡邊委員を除く委員、 ・タイムキーパー：事務局 <p>(2) 各種研修大会への参加について</p> <p>○全国社会教育研究大会石川大会および新潟県社会教育研究大会妙高大会の日程などについて、事務局から説明を行いました。また、新潟県社会教育研究大会終了後、引き続き、第7回社会教育委員会議を開催することを提案しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見はありませんでした。 <p>○全国社会教育研究大会石川大会は、雲尾議長が参加することとしました。</p> <p>○新潟県社会教育研究大会妙高大会は、開催方法が決まり次第、参加希望者を募ることとしました。</p> <p>○新潟県社会教育研究大会終了後、引き続き、第7回社会教育委員会議を開催することとしました。</p> <p>6 その他</p> <p>○ワークショップについて、9月28日（火）午後2時から黒崎市民会館でを開催することを確認しました。</p> <p>7 閉会</p>
<p>傍聴者</p>	<p>0名</p>

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 34 期新潟市社会教育委員会議（第 6 回）次第 ・ 報告資料 1-1 令和 3 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会協議結果について（報告） ・ 報告資料 1-2 令和 3 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会書面開催に伴う会議資料の送付について（通知） ・ 報告資料 2-1 令和 3 年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会書面開催による各都市回答及び決定事項について（報告） ・ 報告資料 2-2 令和 3 年度社会教育主管課長会議資料 ・ 報告資料 2-3 令和 3 年度社会教育委員連絡協議会資料 ・ 報告資料 3-1 令和 3 年度社会教育委員等研修会参加レポート（笹川委員） ・ 報告資料 3-2 同上（木村委員） ・ 報告資料 3-3 同上（田中宏和委員） ・ 報告資料 3-4 同上（山田委員） ・ 協議資料 1-1 ワークショップ「社会教育による次世代育成について」 ・ 協議資料 1-2 ワークショップ「社会教育による次世代育成について」プログラム（案）
--------------	---